

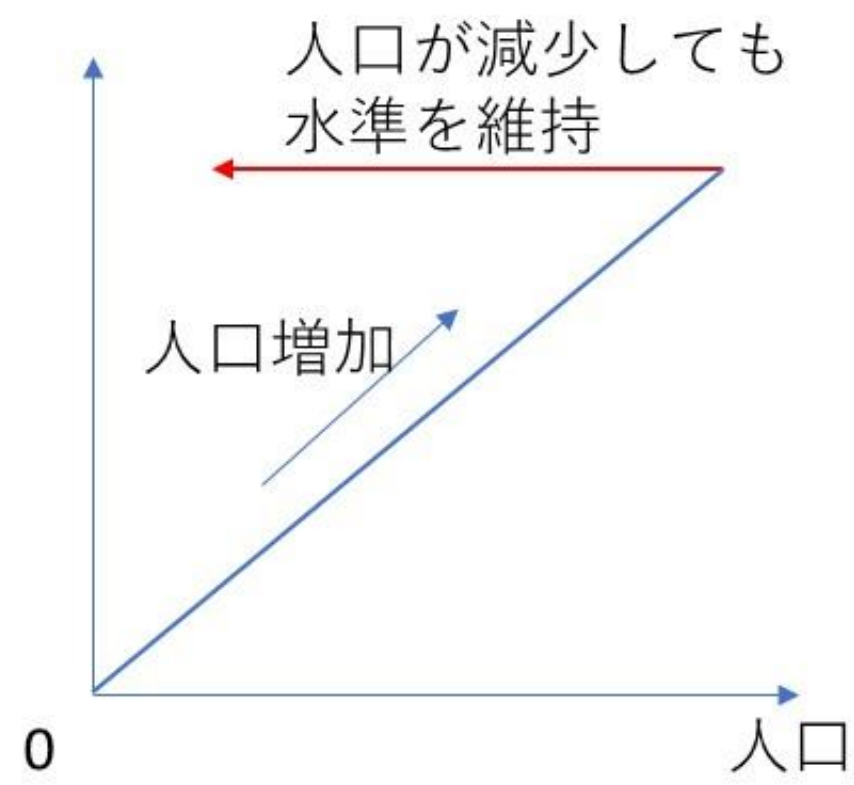
## 人口減少社会における農業水利インフラの在り方を見直す

社会の規模の代表的な指標：人口

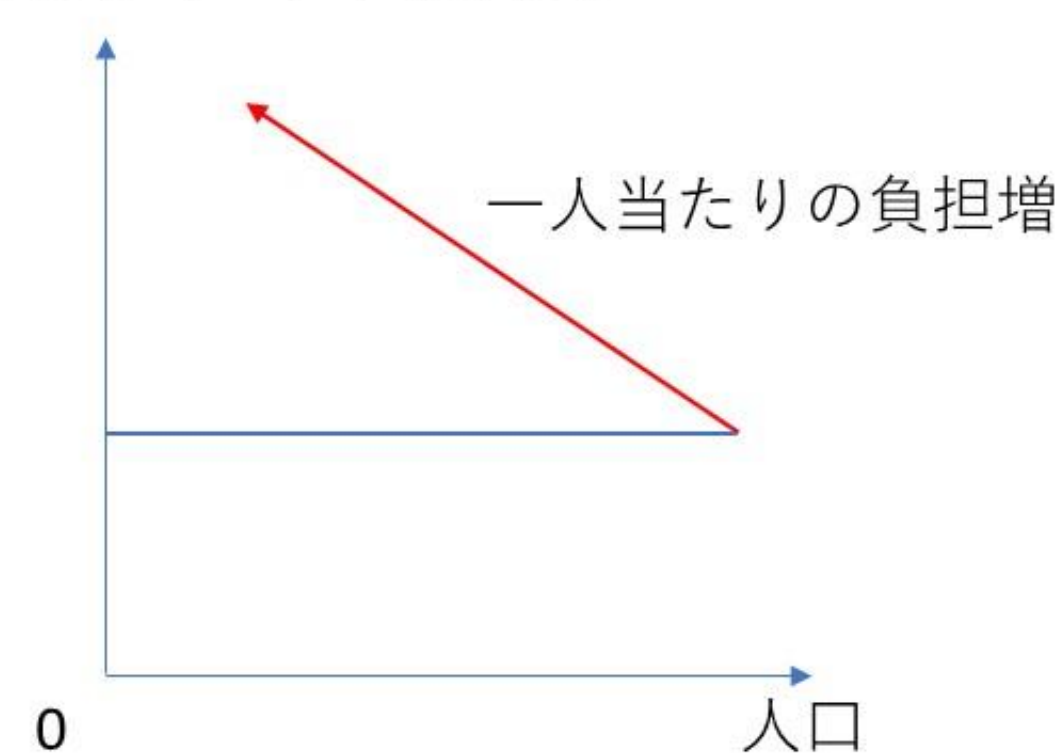
近代の社会発展・・・人口増加、経済成長が前提のインフラ計画  
21世紀の社会縮小・・・長期的人口減少に直面

インフラ vs 自然 という構図からの脱却  
→（特定の）生態系サービスを強化する装置

充足度（＝維持費）



一人当たりインフラ維持費



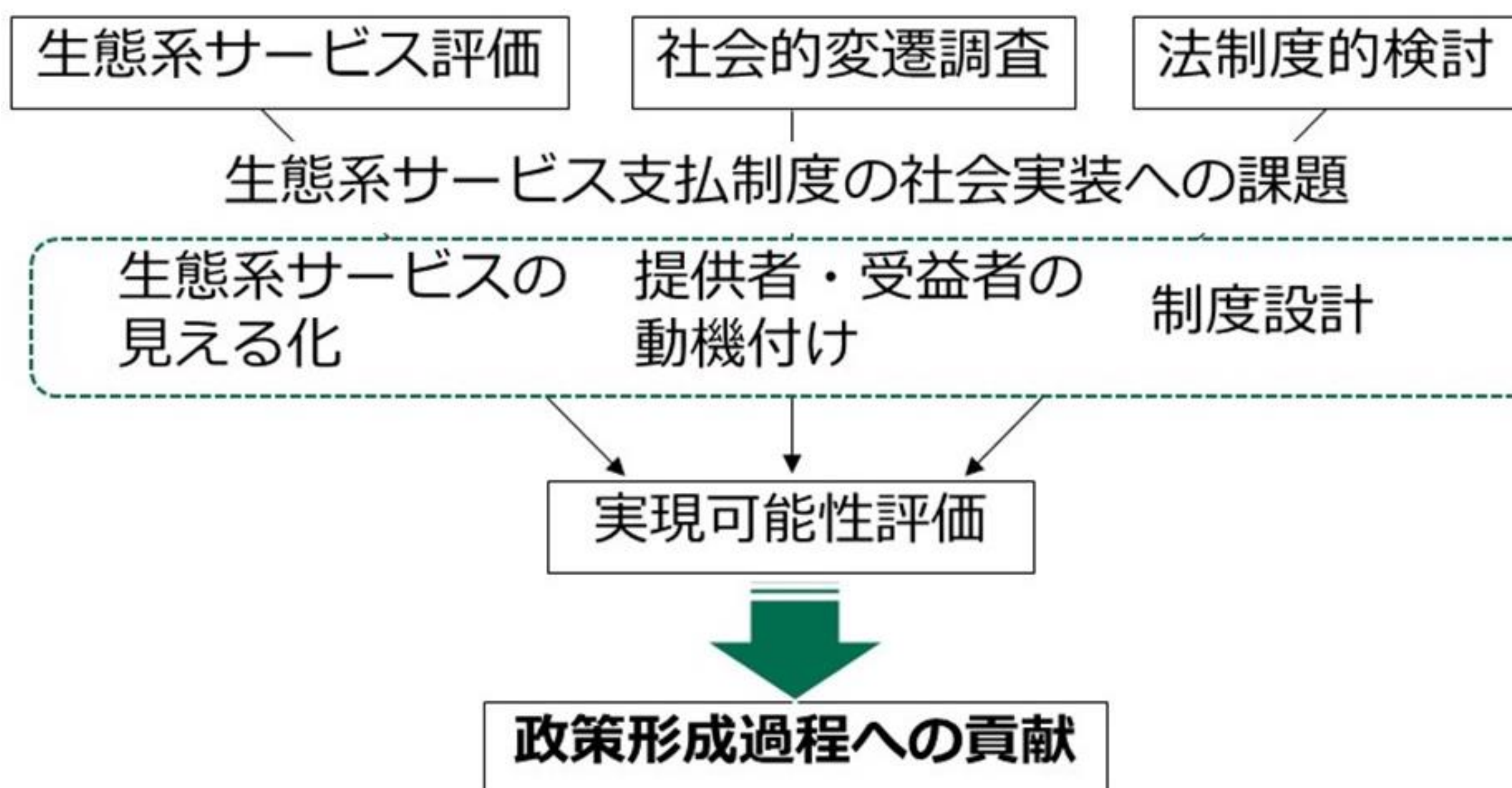
社会状況の変化に応じてその役割を見直す必要  
→生態系サービス間のトレードオフ/シナジー

役割の変化に応じた管理運営形態の変化も必要  
→生態系サービス支払制度

サービスの提供者－受益者の明確化  
→生態系サービスの見える化

### 活動内容

### 対象地：木津用水（愛知県），曾代用水（岐阜県）




### 岐阜-名古屋大学の文理融合型共同研究

研究進捗

現場の肌感

### ステークホルダーとの積極的な情報交換



実現可能性調査G

#### 農村GOで水巡り：小牧市民まつり

農村GO：事前に登録したポイントに行くと報酬としてカードを獲得する位置情報ゲーム  
農村の隠れた魅力の発見→身近な水の役割を考える体験




#### 小牧市ワークショップ概要

第1回 2021年11月30日      第2回 2022年1月11日      第3回 2022年2月18日

課題全体の俯瞰

- ・関係性構築
- ・現状認識と課題感の共有
- ・地域の課題の地図化

利害関係者の認識の相違

- ・降雨時のゲートの操作
- ・昔起きていた課題
- ・今起きている課題

課題の整理

- ・可視化された現状と課題
- ・3つの要素に整理（技術/仕組み/応援）



VESPaのfacebookページ

### 謝辞

本研究は、JST RISTEX 科学技術イノベーションのための科学「生態系サービスの見える化による住民参加型制度の実現可能性評価と政策形成過程への貢献」（JPMJRX20B4）のもと実施されました。